

ホンダコレクションホールをリニューアルオープン ～創業からの時代を追った展示に一新し、 Hondaの“夢と挑戦の物語”を体感できる施設へ～

Hondaは、モビリティリゾートもてぎ（栃木県）にあるHondaの歴史を伝える施設「ホンダコレクションホール（以下、コレクションホール）」を、2024年3月1日（金）にリニューアルオープンします。



ホンダコレクションホール公式サイト <https://www.mr-motegi.jp/collection-hall/>

コレクションホールは、Hondaの創業50周年を記念し、Hondaの原点をお客様に伝える施設として1998年3月に設立されました。クルマやバイク、パワープロダクトなどの製品やレーシングマシンを展示し、昨年25周年を迎えました。

今回のリニューアルでは、Hondaが紡いできた「夢と挑戦の物語」を体感できる展示へと進化させました。創業以来の軌跡を記したパネルを各階に設置し、音声ガイドやスタッフによるツアーとあわせて、Hondaのフィロソフィーや歴史を視覚・聴覚で体感いただけるようにしました。

また1階のエントランス正面には、小型ビジネスジェット機の「HondaJet Elite II」の実物大インテリアモックアップモデルを展示し、機内への乗り込みをお楽しみいただけます。また、最新のパーソナルモビリティ「UNI-ONE」の試乗体験など、Hondaのモビリティに実際に触れられる展示を新たに追加しました。

なおHondaは、コレクションホールに加え、Hondaウエルカムプラザ青山（東京都港区）や、鈴鹿サーキットパーク内に新設されるHonda RACING Gallery^{※1}（三重県鈴鹿市）などの展示体験施設を通じ、歴史、グローバル、モータースポーツそれぞれの視点で、Hondaの製品や企業活動、そこに込めた想いを発信しています。Hondaはこれからも、お客様とのあらゆる接点において質の高いブランド体験・コミュニケーションの場を提供し、お客様から愛され続けるブランドとなることを目指します。

※1 2023年11月に営業を終了した鈴鹿レーシングシアターに代わる新たな展示施設として、Honda RACING Galleryを2024年春オープン予定

【リニューアル概要】

■ 製品展示コーナー（常設展）

製品展示コーナーでは、時代毎にフロアを4つに分け、その時代の特徴をわかりやすく展示しています。二輪車、四輪車、パワープロダクト、HondaJet と Honda の幅広い製品や、レーシングマシンの展示に加え、新たに音声ストーリーガイドを用意。自身のスマートフォン、もしくは、貸出用の機器で二次元コードを読み込むことで、Honda の「夢と挑戦の物語」をお楽しみいただけます。また、HondaJet Elite II の実物大インテリアモックアップモデルへの乗り込みや UNI-ONE の試乗体験など、Honda のモビリティに触れて体感できる展示も追加しています。

【2階南棟 – 創業～1970年前後–】

「みんなを喜ばせたい」「技術力で世界に挑戦する」という思いから始まった情熱の時代

2階の南フロアでは、Honda の創業期の夢と挑戦の物語をご覧ください。浜松の小さな町工場で開発した自転車用補助エンジンから始まり、汎用事業開始、マン島 TT レースへの出場、スーパーカブの発売、F1^{※2}初参戦など、Honda の幕開けの時代をご紹介します。

【2階北棟 – 1970年前後～1985年前後–】

創業時からの挑戦が花開き、本田宗一郎の想いを受け継ぐ新たな世代が躍動した時代

2階の北フロアでは、四輪市場への本格的な参入を果たし、F1 に再び挑戦し勝利を重ねた Honda の時代を彩る製品・マシンを展示しています。初代 CIVIC や CVCC エンジン、二輪のロードレース世界選手権^{※3}や F1 第2期^{※4}に参戦したレーシングマシンなどをご覧ください。

【3階南棟 – 1985年前後～2000年前後–】

一人ひとりの熱い夢や想いを積み上げながら、新しい価値を創造していった時代

3階の南フロアでは、新しい製品が次々と誕生した時代の裏側にあった、壁や逆境に立ち向かう挑戦の物語を紹介しています。Honda 初の3ナンバーサイズセダンであるレジェンドや、新世代スポーツカーとして登場した NSX の開発の裏にある物語を紹介しています。

【3階北棟 – 2000年代～–】

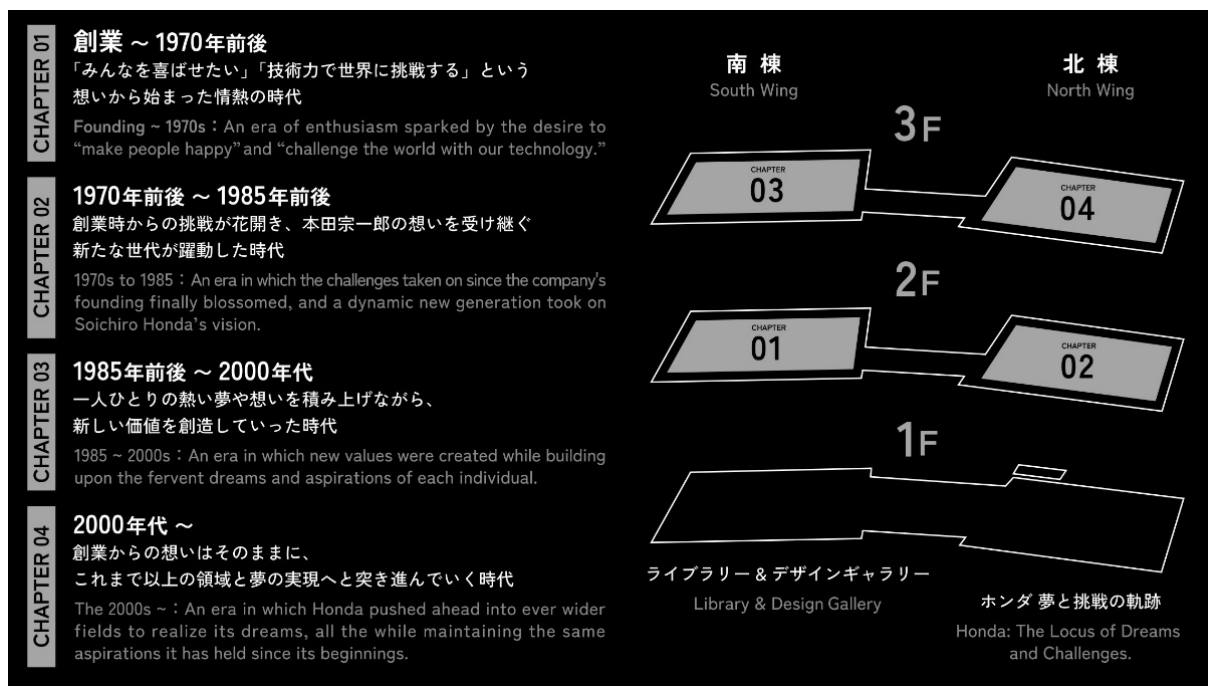
創業からの想いはそのままに、これまで以上の領域と夢の実現へと突き進んだ時代

3階の北フロアでは、ASIMO などロボティクス技術の研究開発や、航空機の世界への新規参入など、Honda の新たな価値創造への挑戦の物語を紹介しています。創業からの想いはそのままに、領域を広げ、夢の実現へと突き進んでいく Honda の挑戦をご覧ください。

※2 FIA フォーミュラ・ワン世界選手権、FIA は Fédération Internationale de l'Automobile（国際自動車連盟）の略称

※3 FIM ロードレース世界選手権、FIM は Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※4 1983年～1992年、エンジンサプライヤーとして F1 に参戦した時代



■ガレージコレクション（企画展）

コレクションホールでは、年間3回、「ガレージコレクション」と称し、常設展では展示しきれない製品を蔵出しし、2階・3階の渡り廊下にて展示します。リニューアルにあわせ、3月1日（金）より、歴代CBシリーズを一挙に公開する「CBヒストリー Part1」企画展を開始します。

・【ホンダコレクションホール リニューアル記念】

CBヒストリー Part1 スーパースポーツバイクの先駆者たち

開催日時：2024年3月1日（金）～6月30日（日）

展示概要：CBの誕生から、“ナナハン”の語源となった「ドリーム CB750FOUR」登場までの歴史を展示車とともに紹介します。また、CBと同じく1950～1960年代に活躍したドイツ、イギリス、イタリアのスポーツバイクも多数展示予定です。

・レーサーレプリカ特集 Part1 ワークスレーサーの血統 NSR250R

開催日時：2024年7月6日（土）～10月14日（月・祝）

展示概要：1980年代から始まった二輪車のレーサーレプリカブームを特集します。Part1となる今回は、2ストロークエンジンを搭載したバイクにスポットを当て、コレクションホールが所蔵するNS、NSRシリーズを全て展示します。

・ゴールドウイング誕生50周年記念展示&S2000誕生25周年記念展示及びオープンカー特集

開催日時：2024年10月19日（土）～2025年3月9日（日）

展示概要：大型プレミアムツアラー「Gold Wing（ゴールドウイング）」の誕生50周年を記念し、歴代モデルを展示します。皇宮仕様車やゴールドウイングをベースとした大型アメリカンカスタムバイク「VALKYRIE（ワルキューレ）」など、これまで展示機会が少なかったバイクも登場。あわせて、リアルオープンスポーツカー「S2000」の誕生25周年を記念し、S2000の生産第一号車や国内外のオープンカーを展示予定です。

■ ライブラリー&デザインギャラリー

開かれたコミュニティの場として活用できる「ライブラリー&デザインギャラリー」を新たに設けました。ライブラリーは、さまざまな二輪車・四輪車に関する雑誌を見ながら休憩スペースとして利用いただけるだけでなく、ワークショップスペースとしても活用することが可能です。デザインギャラリーには、Honda のデザイナーが描いた製品のデザインスケッチや、Honda のモビリティのアート作品が展示されています。

■ 楽曲

新進気鋭の作曲家、久保田千陽氏によって制作され、インストゥルメンタル^{※5}の音楽グループ「JPCO (Japan Popular Classics Orchestra)」が演奏したオリジナル楽曲を、各フロアの背景音楽 (BGM) として再生しています。時代に沿った4つのテーマからなるコレクションホールオリジナルサウンドをお楽しみください。



©SENYO MUSIC MANAGEMENT

※5 音楽における一つの形式。歌詞を伴わない、楽器のみで演奏される音楽を指す

【ホンダコレクションホール 概要】

住 所：栃木県芳賀郡茂木町大字檜山 モビリティリゾートもてぎ内

営業時間：10:00-16:30（季節によって変動あり）

入 場 料：無料（別途モビリティリゾートもてぎへの入場料・駐車料必要）